

デザインで人を幸せにしたい。 福井工業大学でみつけた夢。

大量消費型のものづくりが見直され、
デザインによる新しい価値の創造が求められる今、
デザインの仕事に注目が集まっている。
福井工業大学では、第一線で活躍する
現役デザイナーの指導のもと、
新時代で活躍するデザイナーを育成している。



永井幸奈 (ながい・ゆきな) さん
富山県立高岡工芸高校出身
デザイン学科3年生

社会とリンクして貢献する 「デザイン」という仕事

子供の頃から絵を描いたり、ものを創ることが好きだった。高校のデザイン学科で住環境デザインと出会い、大学でもっと深く学びたいと思った。父の単身赴任先だった福井県は以前から馴染みがあり、福井工業大学デザイン学科に進学したのも自然な流れだった。

現在3年生。教員全員が第一線で活躍する現役デザイナーという刺激的な環境で、住宅設計や店舗のインテリアデザインなどの住環境の空間設計を学ぶ。実習と課題が繰り返されるカリキュラムは、プレゼンテーションなど企業とのコミュニケーションスキルも学べ、「顧客の課題を解決する」というデザインの本質についても触れられる。

「空間デザイナーになりたい」。永井さんがこの想いを強くしたのが、プロと共に現場の仕事を体験できる学内のデザインセクション「U's Design Studio」に参加したこと。そのプロジェクトの一つである「えちぜん鉄道七ヶアートプロジェクト」では電車の内装を設計し大成功させた。「構想から車両の実測、予算管理、企業へのプレゼンテーションまで学生で行いました。安全性を第一に配慮するなどデザインには制限や条件があること、また社会の仕組みとリンクする仕事だということを実感しました。電車が実際に町を走った時の感動は忘れられないという。



造形デザイン実習の風景

3年生の今は店舗設計の実習が中心だ。「福井西武向かいのファッション店舗を設計せよ」という実践課題をこなしながら設計力を鍛える日々。「課題提出前には徹夜になることもしばしば。でも専門分野の勉強が大好きなので苦にはならないです」と目を輝かせる。

「自分の進みたい道は本当に設計なのか、壁にぶち当たった時期もあります」と永井さん。しかし、3年生で店舗デザインというジャンルと出合ったことで迷いが消えた。「店舗設計ならお客さんの要望をかなえつつ、自分らしさも発揮できる。何より世の中をちよつと良くすることに貢献できる。デザインって難しいけど、楽しいな」。

自分らしいデザインで 人に感動や発見を届けたい

最近では、実在する国内文具メーカーを想定した店舗設計にも取り組んだ。「常識にとられない新しい文具」というブランドコンセプトに合わせて、お客さんが商品を手にとるまでのワクワクするストーリーを思い描き、今までにない空間デザインを心掛けてきた。ブランドイメージに合わせた

店舗設計は、デザイン学科の川島洋一教授から「面白い発想」とのお墨付きをもらった。

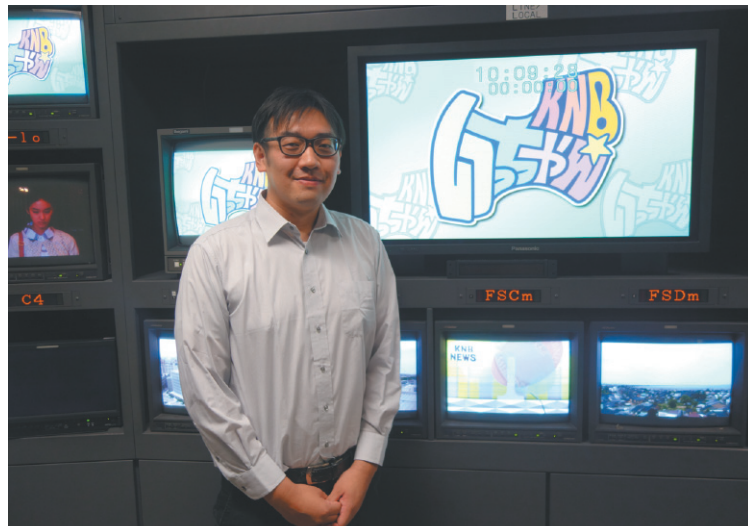
教授たちに掛けられた言葉で、いつも心に留めているものがある。一つは「提出期限を守る」。もう一つは「お客さんの要望以上の付加価値を届ける」だ。「どちらもプロとしては当たり前のことです。設計者はオーダーをクリアするのは当然。そこに感動や驚き、楽しさを提供できてこそ一人前だと学びました。そんな

ふうに人や社会に幸せを届けられる設計者にいつか私もなりたい」。

日々の実践は大変だけど、とても充実している。「授業はもちろん、先生や友達との交流など学生生活の経験をすべて自分の力に変えていける。それが私にとって、この大学の一番の好きなのところ」。

こうありたい未来を自らの手で設計し、確実に実現する力をつけられる場所。それが福井工業大学デザイン学科だ。

富山県出身のOBに聞きました



チームワークで テレビの番組制作を。

KNB・F勤務 松田 真明さん 2007年 工学部卒

富山の今を伝える報道番組や情報番組の制作技術の分野で主に仕事をしています。番組制作には、出演者や撮影するカメラマン、番組を進行するディレクター、音声を調整するミキサー、時間を管理するタイムキーパーなど多種多様な役割のスタッフが働いています。その中で映像に関わるスイッチャーとして担務しています。スタッフとのチームワークも大事で、テンポのよい番組を作るためには欠かせません。それぞれが役割を果たして生放送が成り立つので、やりがいを感じています。

この他に、技術部門が担う分野として送出と送信があります。ご家庭のテレビで視聴するためには、放送局から信号を電波塔に送り、電波塔からご家庭のアンテナまで送り届けています。

現在は、番組の技術面を取り仕切るテクニカルディレクターの見習い中です。将来、大がかりな中継現場で活躍できるようスキルや知識を学んでいます。

福井工大に進学したのはパラボラアンテナの写真が表紙の大学パンフに興味をひかれて。電気電子分野と電波通信を実際のパラボラアンテナを動かして学べる大学は珍しく、魅力的でした。今の仕事現場で電波を多用しているので学生時代に学んだことが活かされています。



映像、画面のレイアウトなどを調整する松田さん

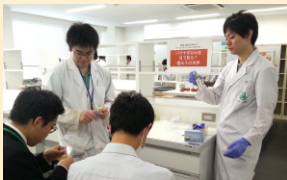
未来の自分が 見つかる場所!



OPEN CAMPUS 2016

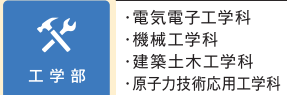


開催日 7月17日(日)、8月6日(土)、9月11日(日)、10月8日(土)・9日(日)



- ◎学科説明
- ◎学科体験
- ◎保護者説明会
- ◎キャンパスツアー
- ◎進学・就職相談コーナー
- ◎入試相談コーナー

在学生の
プロジェクトメンバーが
ご案内します!



- 電気電子工学科
- 機械工学科
- 建築土木工学科
- 原子力技術応用工学科



- 環境・食品科学科
- 経営情報学科
- デザイン学科



- スポーツ健康科学科

無料シャトルバス運行 ※ご利用の方はホームページからご予約下さい。

往路	発	着
富山駅(北口)	7:30	
高岡駅(南口)	8:30	
福井工業大学	10:30	
復路	発	着
福井工業大学	14:30	
高岡駅(南口)	16:30	
富山駅(北口)	17:30	

[ホームページ] <http://www.fukui-ut.ac.jp/> 福井工業大学 検索